

フィリピン・セブ留学 出発前ガイド

現地インターネットの準備 — eSIM のおすすめ

セブ・フィリピンでの留学生活では、地図・翻訳・学校や滞在先との連絡・ご家族との通話など、到着したその日からインターネットが欠かせません。近年は物理SIMカードの差し替えが不要な「eSIM」が主流になりつつあり、日本にいる間に設定を済ませておけば、現地に着いた瞬間からそのまま使えるため安心です。本ガイドでは、ご滞在スタイル別におすすめの選び方をご案内します。

eSIM をおすすめする理由



到着後すぐ使える

日本で事前に設定でき、現地到着と同時に通信開始。空港での購入や行列は不要です。



日本の番号を残せる

日本のSIMを差したまま利用でき、日本宛の着信やSMS認証も受け取れます。



紛失・差替えの心配なし

小さなSIMカードの抜き差しがなく、紛失や破損のリスクを避けられます。

ご滞在スタイル別 おすすめの選び方

短期・コスパ重視（～約1ヶ月）

Airalo（エアロ）

世界的に利用者が多い定番のeSIM

使うデータ量に応じたプランを必要な分だけ選べ、料金を抑えやすいのが特長です。日本で事前設定でき、はじめての海外eSIMでも迷わず使えるので、短期留学でまず検討したい一つです。

▶ Airalo 購入ページ

www.airalo.com/philippines-esim

▶ 日本語ページ（プラン例）

www.airalo.com/ja/philippines-esim/alpas-mobile-in-30days-10gb

データをたくさん使う方

Holafly（オラフライ）

ほぼすべてのプランがデータ無制限

動画視聴・ビデオ通話・テザリングを気兼ねなく使いたい方向いています。現地大手Smart回線を利用し、都市部で安定。長期になるほど割安になりやすい傾向です。

▶ Holafly 購入ページ

esim.holafly.com/esim-philippines

日本語サポート重視の方

trifa（トリファ） / World eSIM

日本企業運営・日本語サポート

24時間の日本語チャット対応など、サポート体制が整っています。eSIMがはじめてで設定に不安がある方や、現地でのトラブル対応まで安心したい方におすすめです。

▶ 各社公式サイトにて

trifa.jp / jp.world-esim.com

長期滞在・日本と頻繁に連絡

日本のSIM + eSIM の併用

番号を維持しつつ現地データを確保

日本の物理SIMで番号・着信を維持しつつ、現地データはeSIM（Airalo等）でまかなう「併用」が快適。仕事や緊急連絡がある方に最も安心なスタイルです。

▶ お手持ちのSIMはそのまま

eSIMを追加で有効化

使い始めまでの流れ（日本での準備）

1

端末を確認

お使いのスマホがeSIM対応が確認します（比較的新しい機種はほぼ対応）。

2

プランを購入

各社のアプリ / サイトで、フィリピン向けのプランを選んで購入します。

3

eSIMを設定

届いたQRコードを読み込み、画面の案内に沿って設定します。

4

現地で有効化

フィリピン到着後にオンにすれば、すぐにインターネットが使えます。

ご購入前のご確認ポイント

- 対応端末が eSIMはお使いのスマホが対応している場合のみ利用できます。SIMフリー、または現在の回線がeSIMロック解除済みかもあわせてご確認ください。
- 料金は要・最新確認 各社の料金・プラン内容はキャンペーン等で頻繁に変わります。お申し込み前に必ず各社の公式サイトで最新の内容をご確認ください。
- 通信エリア フィリピンの主な通信事業者はSmart（スマート）・Globe（グローブ）です。上記eSIMは概ねこれらの回線を利用し、セブ・マニラなど主要都市部で快適に利用できます。離島・山間部では電波が弱まる場合があります。
- 容量の追加 滞在中にデータが足りなくなっても、多くのサービスはアプリからその場で追加（トップアップ / リチャージ）できます。まずは短めのプランから試すのも安心です。※Airalolはプランにより追加対応の有無があります（各プランの「Additional Information」欄で購入前にご確認ください）。

迷ったときは？ 「短期留学なら Airalol」「データを気にせず使いたいなら Holafly」「設定サポートを重視するなら trifa / World eSIM」を基本の目安にお選びください。ご滞在期間・お使いの端末をお知らせいただければ、担当より最適なプランをご案内します。お気軽にご相談ください。

※本資料は一般的な情報提供を目的としたものです。具体的な料金・提供条件は各サービス提供事業者の公式情報が優先されます。記載の事業者・サービス名は各社の商標です。